



日野の電動化戦略

2020年10月29日

日野自動車株式会社

先進技術本部長

通阪 久貴

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献を通じて日野が目指す姿

1 安心・安全で、環境にやさしく、
人と物が自由に最適に移動で
きる社会の実現



2 トラック・バス事業にお
ける各ステップで、環境
負荷最小化

3 同じ志を持った「仲間づくり」
(あらゆる力を結集した社会課題解決)

4 サステナブルなバリューチェーンの構築

5 ダイバーシティ&インクルージョン

6 人流・物流を支える人材を育てる



電動化の基本方針

自由に安全に効率的に、人と物が移動する
「豊かで住みよい持続可能な社会」
を目指し

地域ごとのニーズや法規制・インフラ等の動向を踏まえ
地域軸・技術軸・時間軸で
最適なパートナーと連携し、
お客様のビジネスに貢献できる電動商用車を
より早く実現していく



商用車の電動化の考え方

商用車はお客様のニーズに合わせて「適材適所」

商用車の特徴：車の大きさ（積載量）、移動距離、使用場所・用途が多種多様



車両電動化の取り組み方針

普及拡大期

自社・パートナー技術を
発展・活用し
スピーディに市場投入

本格的普及期

電動車に最適な
プラットフォーム開発に向け
パートナーと協業

FCV 普及に向けて実証実施



EV 都市内向けから実用化



HV



足元における
「現実解」

電動車
比率
100%

2020

2027~2030
各種規制施行

2050

日野プロフィア ハイブリッド

足元のCO₂排出量大幅削減の「現実解」

導入いただいたお客様の
運用実績例

ディーゼル車比 約15%の燃費向上



より多くのお客様にお使いいただき、CO₂排出量削減に貢献していく

米国「Project Z」

お客様に一番近い現地事業体が主体となり
現地有力パートナーとともにスピード感を持って電動車開発

FCV

トヨタと共同で開発予定



HINO XLシリーズ（クラス8）

：トヨタの燃料電池システムを搭載

EV

現地パートナーと試作車製作



HINO XLシリーズ（クラス7）：Hexagon Purus社のフル電動ドライブシステムを搭載

HINO Mシリーズ（クラス5）：SEA Electric社のモーターを搭載

HINO XLシリーズ（クラス8）：Xos Truck社のバッテリー・電動ドライブシステムを搭載

（画像左から）



パートナーとの協業：BYD

主にアジア市場におけるお客様ニーズに
最適な商用EVのスピーディな投入を目指す



BYDと商用EV開発の合併会社設立に合意

2021年に中国国内で商用EV開発の新会社設立予定

両社の強みを活かして商用EV開発を行い

2020年代前半に日野ブランドEVの市場投入を目指す

2020年4月

商用EV開発における協業を中心とする「戦略的パートナーシップ契約」を締結

2020年10月

商用EV開発の新会社設立に向けて合併契約を締結





パートナーとの協業：TRATON

**商用車メーカーならではの強みを掛け合わせ、中長期目線で
電動車の一括企画を行い、お互いの得意分野で開発分担**



日野自動車とTRATON、電動化における協業契約を締結

電動プラットフォームや電動化コンポーネントの共通化を推進

高い専門性を持つチームを形成しスウェーデンで活動開始、東京にも拠点設置予定

将来社会に必須となるEVやFCVなどの実用化に向けたリードタイムを短縮

2018年4月

長期視点、対等かつ互恵的な戦略的協力関係の構築に向けた合意書（SCFA）に調印

2020年10月

電動車の企画と提供に向けた協業契約を締結



トヨタ自動車と連携して水素社会実現を牽引

低炭素社会、水素社会の実現に向け 走行実証を通じてFC商用車の実用化を推進



FC大型トラック



北米向けFC大型トラック



FC小型トラック



FC大型路線バス（実用化済）

電動化車両の投入を加速

これまでの電動化実績をベースに本格的な電動車を
2025年度までに日本・北米・アジア市場へ展開

これまでの取り組み実績

HV トラック・バス
1991～
約30年の販売実績



EV 低床小型バス
2012～
限定販売



EV 配送トラック
2013～2014
モニター運行



PHV 中型バス
2016～
限定販売

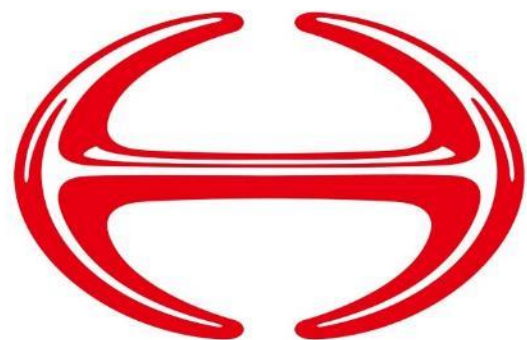


FCV 大型路線バス
2017～
【トヨタブランド】



21年度 公道実証実施
22年度 市場導入を目指す





HINO